

麦類赤かび病に関する情報(第5報)

令和7年4月25日

香川県農業試験場病害虫防除所

麦類赤かび病は、その病原菌が毒素を生成することから、麦類の重要病害虫に位置付けられています。麦の開花期～乳熟期が赤かび病菌に感染しやすくなる時期で、今回、**12月上旬播種の小麦の開花時期に赤かび病の多発生に好適な要件を満たす日が確認されました**。今後、気温が高い状況で曇雨天が続くと、赤かび病が発病するおそれがあります。

最も重要な**防除時期は開花始めの頃とその7～10日後**ですので防除を徹底してください。なお、本情報の開花期予想は綾川町（本県内陸部）における予測であり、**平野部～海岸部ではこれより早くなる**ので注意してください。

1. 麦類の生育状況

農業試験場における小麦‘さぬきの夢2009’の12月上旬播種の開花期は4月24日で、平年より1日程度遅くなりました（表1：農業試験場作物・特作研究課調べ）。

表1 麦類の出穂及び開花の状況（農業試験場作況試験圃場：綾川町）（4月24日時点）

麦種	品種	播種期	出穂期		開花期 ^{注1)}	
			平年値 ^{注2)}	本年 ^{注3)}	平年値 ^{注2)}	本年
はだか麦	イチバンボシ	11月上旬	3月23日	3月26日	3月31日	4月4日
		11月中旬	3月28日	3月31日	4月4日	4月8日
		12月上旬	4月4日	4月9日	4月10日	4月20日
小麦	さぬきの夢2009	11月上旬	3月27日	3月31日	4月10日	4月17日
		11月中旬	4月3日	4月13日	4月16日	4月19日
		12月上旬	4月13日	4月19日	4月23日	4月24日

注1) 開花期は40～50%の穂が開花する時期を示す。

注2) 平年値は平成26年播き～令和5年播きの10か年の平均値である。

2. 気象経過と赤かび病発生条件の出現状況（別表参照）

1) 4月25日現在、高松市アメダスをもとにすると、子のう胞子の飛散好適日が3月24日、3月27日～28日、4月6日、4月10日～11日、4月20日～24日に出ています。また、**多発生に好適な要件を満たす日が4月23日**に出ています。

2) 高松地方气象台発表の四国地方の週別の平均気温と天候によると、4月26日～5月2日までは平年に比べ晴れの日が多く気温は平年並、5月3日～5月9日までは平年と同様に晴れの日が多く気温は高い見込みです。

3. 防除情報

1) 現在、赤かび病に適用のある薬剤は、発病前に散布しないと防除効果がないため、**開花始期には必ず防除**を実施しましょう。

2) 気象経過に注意しつつ、追加防除の時期を決めましょう。

表2 赤かび病の防除時期、防除薬剤等

	防除時期	防除薬剤	希釈倍数	使用時期／回数
1回目	開花始め頃	トップジンM水和剤	1,000～1,500 倍	小麦：収穫 14 日前まで／ 出穂期以降は2回以内 はだか麦：収穫 30 日前まで／ 出穂期以降は1回
2回目	1回目の7～10日後	ワークアップフロアブル	2,000～3,000 倍	小麦：収穫 7 日 前 ま で ／ 3回以内 はだか麦：収穫 7 日 前 ま で ／ 3回以内

(資料：小麦、はだか麦の栽培しおり)